

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

1

祠に隠された秘密

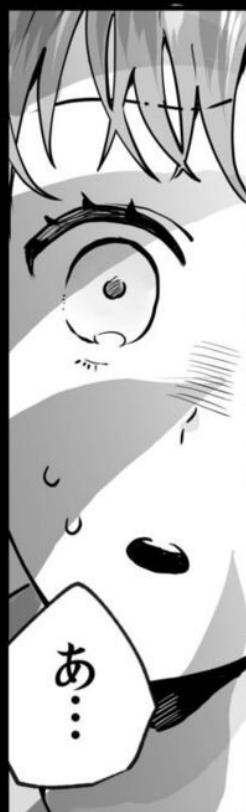
R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT









びんぽんぽん

子宮ツ♡
つぶれちゃうううう♡

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

びんぽんぽん

スコスコ♡
らしいしゅわ♡

びんぽんぽん

びんぽんぽん





蒼ちゃん…
きもちよかった♡

は—
ほす

彼女は
はたの
秦野 菜月

俺の幼馴染で

恋人だ

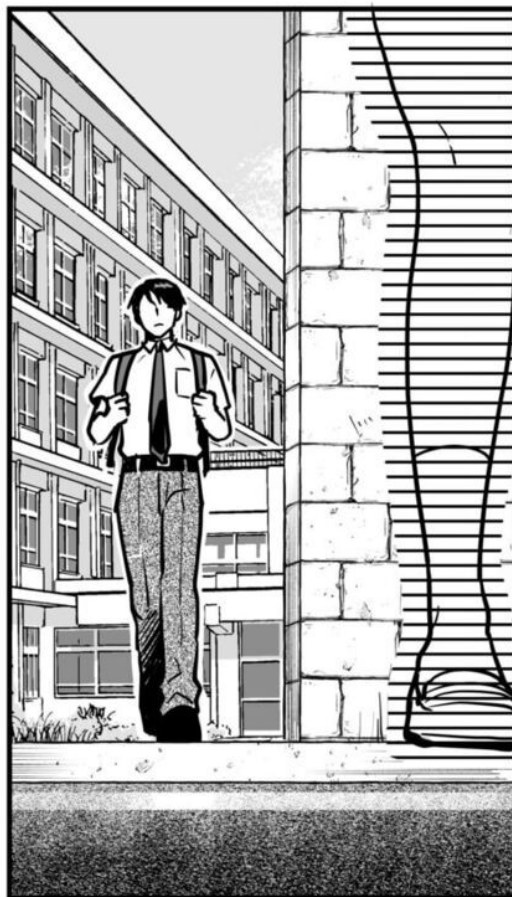
俺は中学まで
この島で
育ったが

親の転勤を機に
島を離れた

それから8年—











ねえ

たまにはわたしのこと
思いだしてくれた？



菜月…



わたしは
蒼ちゃんが
いなくなつてから…
寂しかったよ

それから
教育実習の
期間が終わるまで

放課後は
菜月と一緒に
色々なことを話した

空白の8年間に
埋めるように

そういえば
姉さん…

まひろ
真尋は
どうしてる？

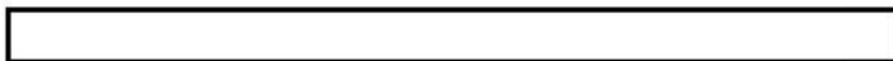
大学の先輩でさ

キャンパスで
偶然会ったときは
びっくりしたな

うん…
姉さんから聞いた

姉さんは
卒業してから
島に帰ってきて

実家の神社で
巫女やってる



そして俺が
教育実習を終え
島から帰る前日――



蒼ちゃんってば!



なんか8年前
みたいだな

あのときの菜月
めちやくちや
泣いてさ



港まで
見送りに行くね



もう...



蒼ちゃん...

あのさ

わたし
あの頃から

菜月…

俺も

菜月の
ことが…

蒼ちゃんが好き

それから2ヶ月後
大学が夏休みに
なった俺は

卒論の調査もあり
この島に戻ってきて



こうして菜月と
毎日のように
セックスしている



飲み物
取ってくるから
ちよつと待ってて

ありがとう



そついえば
あれ以来



真尋については
聞けていない

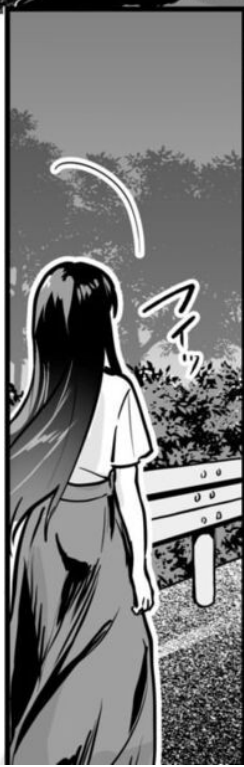
菜月は島に
帰っていると
言っていたし

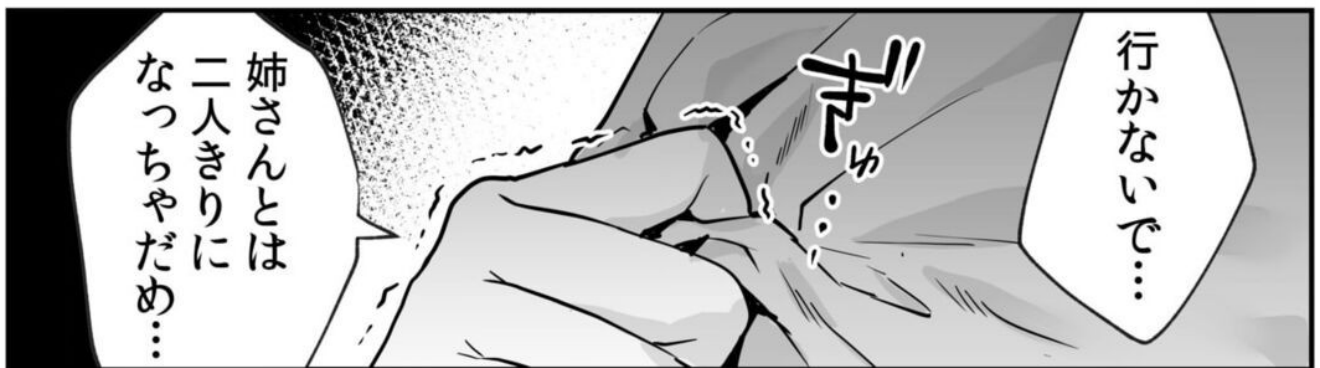
この家に
いるんだろうが…

じゃあ
また明日

うん







でも幼馴染
とはいえ

家族のことに
首を突っ込む
のもなあ…

ツンツン

えっ…

真尋…!?

ハッ
ナナナ

はい

真尋…
どうしたんだ？

なあ菜月と
なにかあったのか？

昔はあんなに
仲が良かった
のに…

……









蒼...ちゃん...?



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(1)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
- ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

2

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

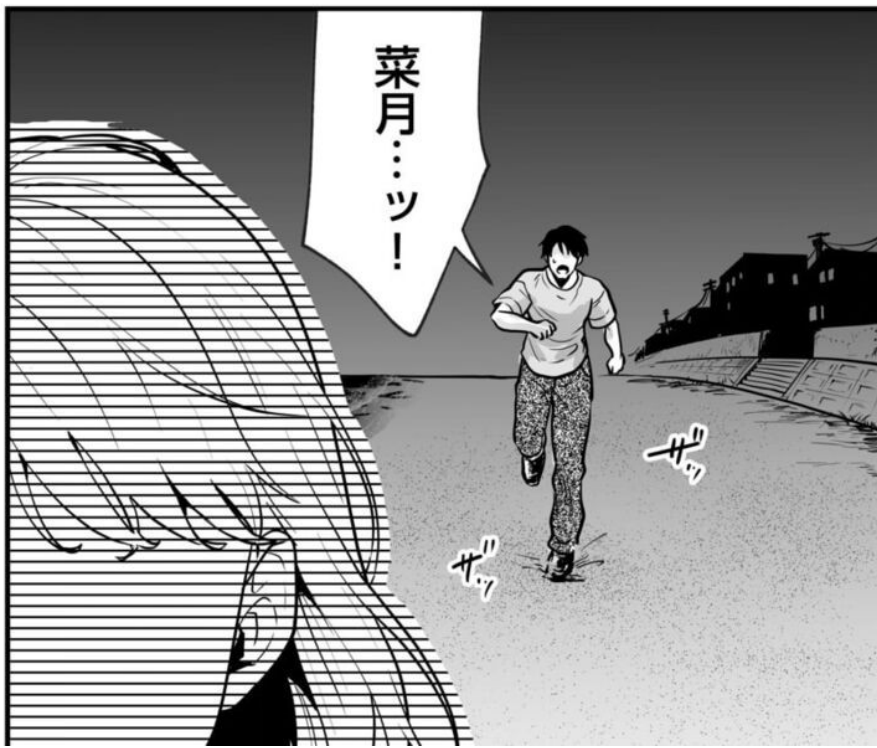
モゲラーノ

MOGELANO

アシナ
NEXT









蒼ちゃんに
聞いて欲しいことが
あるの



もう
めちやくちや
混乱してて

超シヨック
だけど…



なんだか様子が
おかしくて…



姉さん
大学卒業して
こつち帰って
きてからさ

うん



心ここにあら
ず
つていう感
じで



巫女の仕事は
しているみたい
なんだけど



少しボーっと
してる
つていうか…



姉さんって
内気だけど

もつと優しく
て
明
る
か
っ
た
で
し
ょ
？



そういえば
あの時も…



それに…
実は姉さん



そうだ
俺の記憶の中の
真尋もそんな感じだ



いろんな
男の人と
そういう関係…
だったりする
みたいで…



…何度か
見たことあるの



え…



姉さんが
家の裏の森とかに
男の人と
消えていったり

明らかに
事後っぽい感じで
でてくるの…



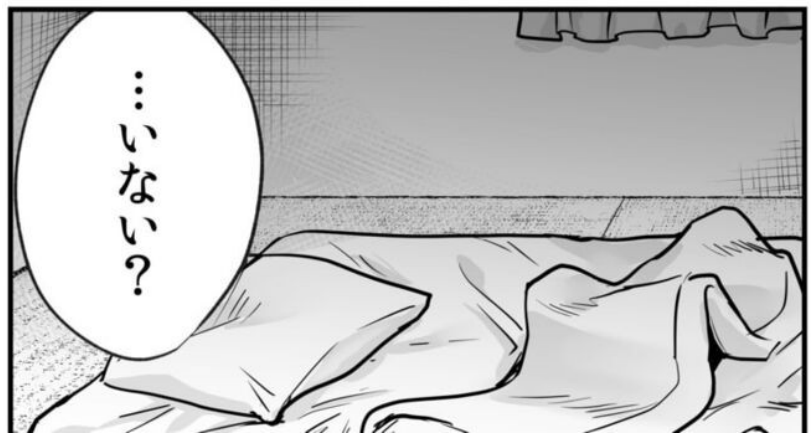
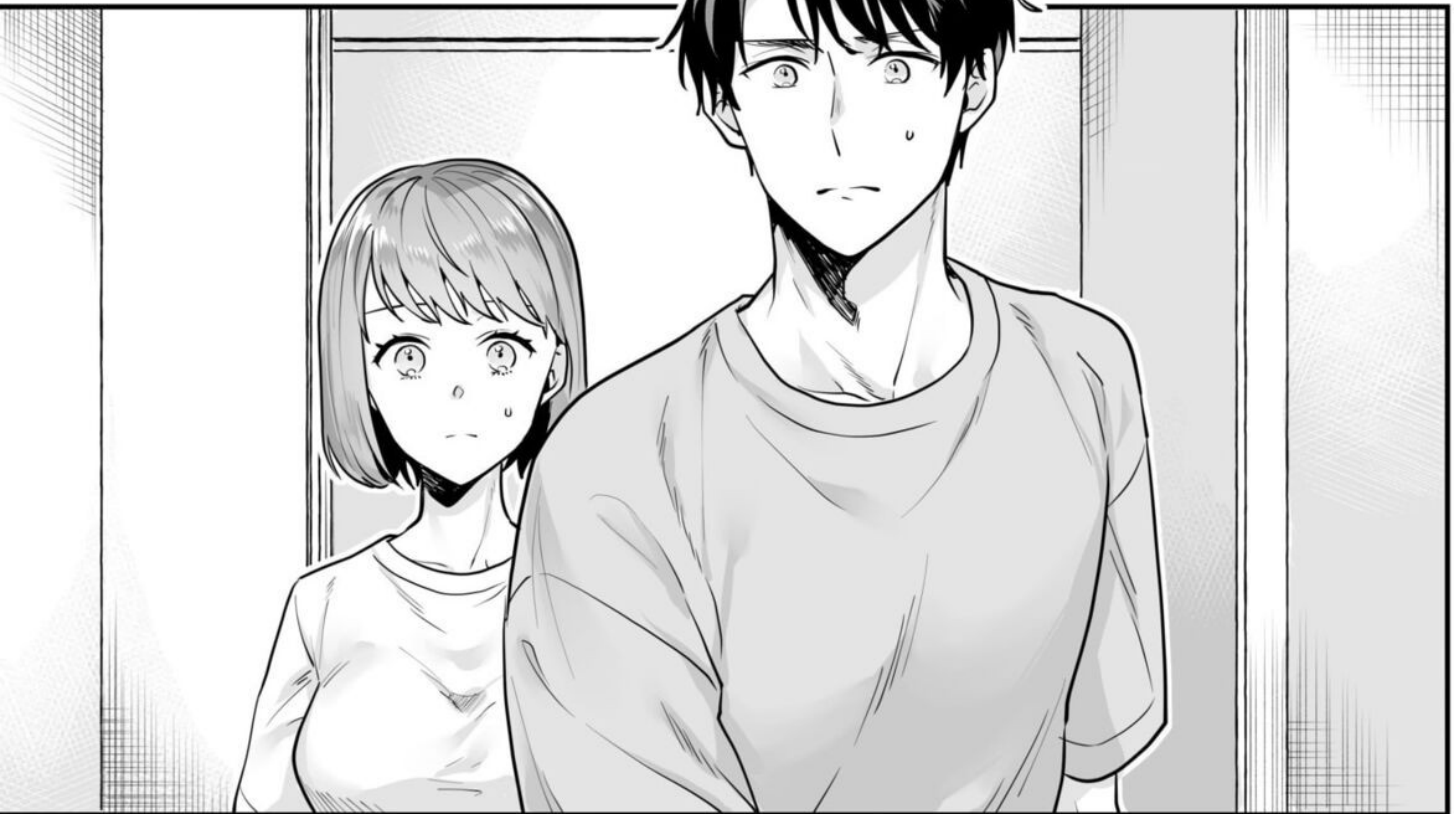
だからさっきの
蒼ちゃんと
姉さんのことも

もしかしたら
なにか理由が
あるのかなって…



は…？









はっ

良いモノを
持っておるな

初めて
なのか？

は、
はっ！

はっ
はっ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

見えるか？

それは
勿体ないのう

お主の男根が
ずっぽりと
入っておるぞ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ



ほれ

自分で
動いてみせよ

お前の子種も
良さそうだ

はっ
お
もう
く

はっ
お

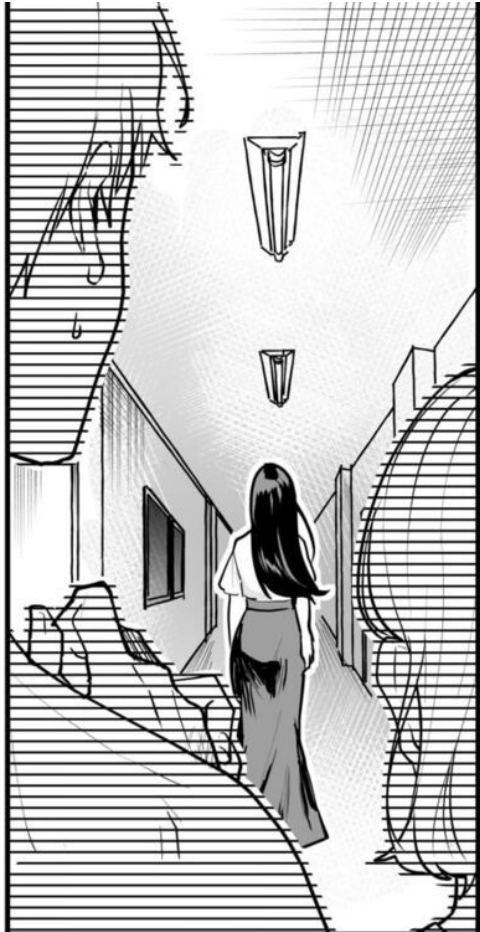


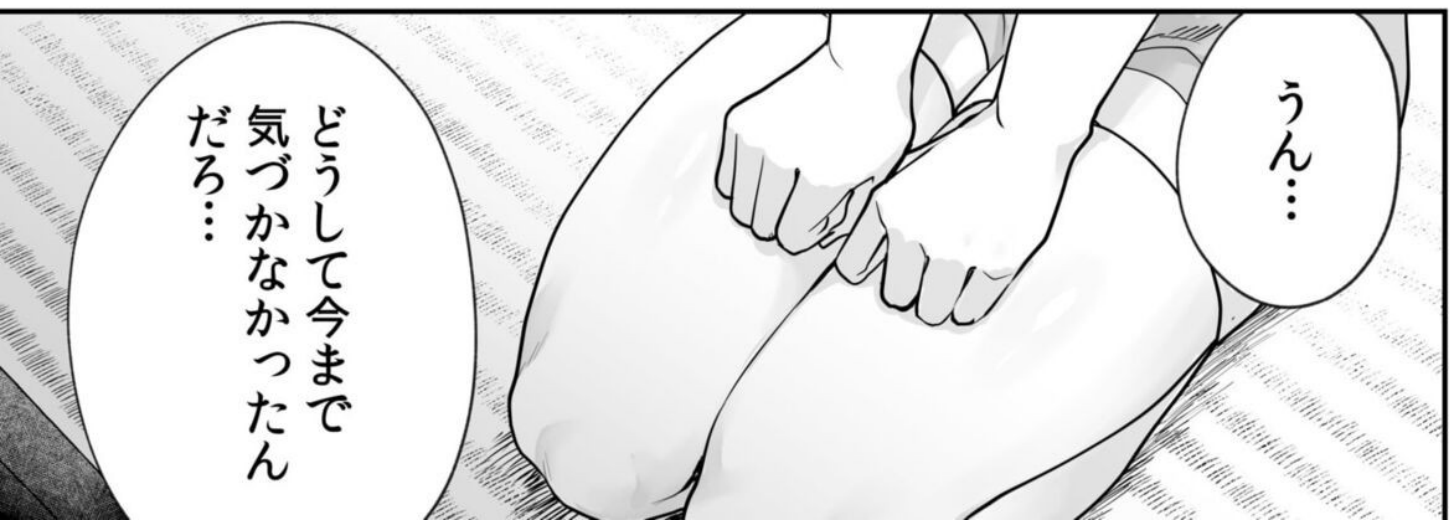
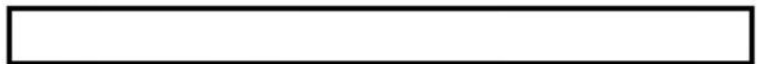
俺たちは
止めることも忘れて

恐ろしいほどの
艶めかしさに
魅入られて
しまっていた















え…祠…？



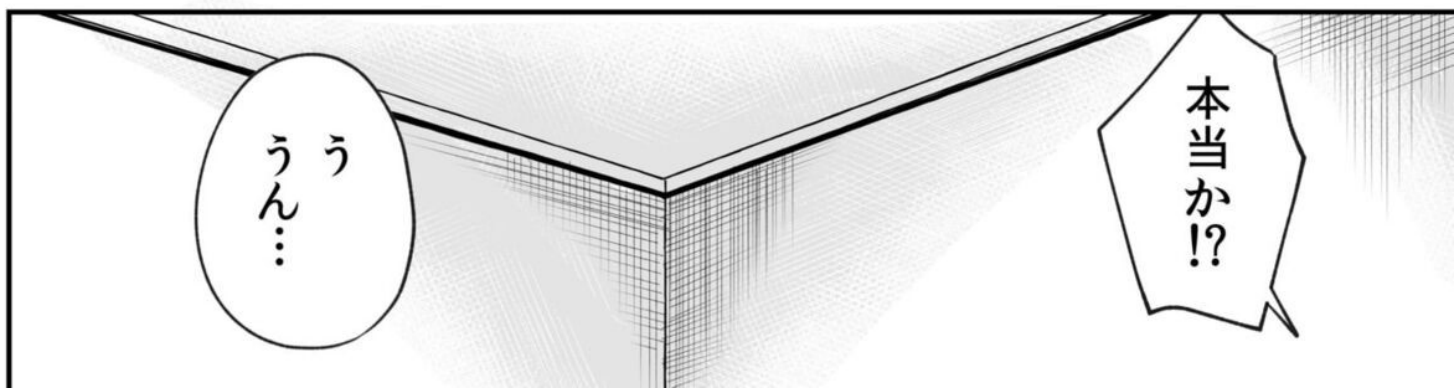
菜月！
卒論研究で
調べただけど

こちら辺に
祠ってあったり
しないか？



あそくらいえば
すごい昔…
10年くらい前かな？

私が裏山で見つけた
古い祠に姉さんを
連れて行ったことが
あったな…



本当か!?

うん…

だいぶ
朽ちてたけど…

別になにも
なかったと
思うよ

…

嫌な感じが
する…

そう？

そういう古いものが
実はヤバかったり
するんだよ

明日その祠に
連れて行って
くれないか

うん
いいけど…



うん…



大丈夫だよ

真尋は
元に戻るさ



古の祠…

もしかすると
真尋がああなうて
しまったことの

ヒントが
あるかもしれない—



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(2)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

3

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ NEXT





結構
歩いたな…

さすがに
長くないかこれ…

ね…



はあ…



こんなに
遠いところ
だったつけ…



小さい頃の菜月^{なつき}は
なんでこんな
ところに来たんだか

もお
わたしも
覚えてないの！



それにしても…

なんだか
薄気味悪い
場所だな…



うん…
変な感じ…

ふっ



きもちわるい…



……?
い

なんか…
本当に気持ち悪…



そう
蒼ちゃん…?

…っ











すっかり
大人の女性に
なった真尋は

そして
年があけて
2月――

とても
綺麗だった

たにおか
谷岡
こっちこっち！

ガラガラ





ごめん…
なんだか楽しく
なっちゃって…



うゑ…

蒼汰くん
飲み過ぎよ…



蒼汰くん…



それに真尋と
もう会えないんだ
って思うと



うあ〜

ぽん





蒼汰くん…っ

ごめんなさい

まひろ…？

わたしっ…









蒼汰…くうんっ♡

蒼汰くんも
気持ちよくなつて…

ね？♡

まひろ…っ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

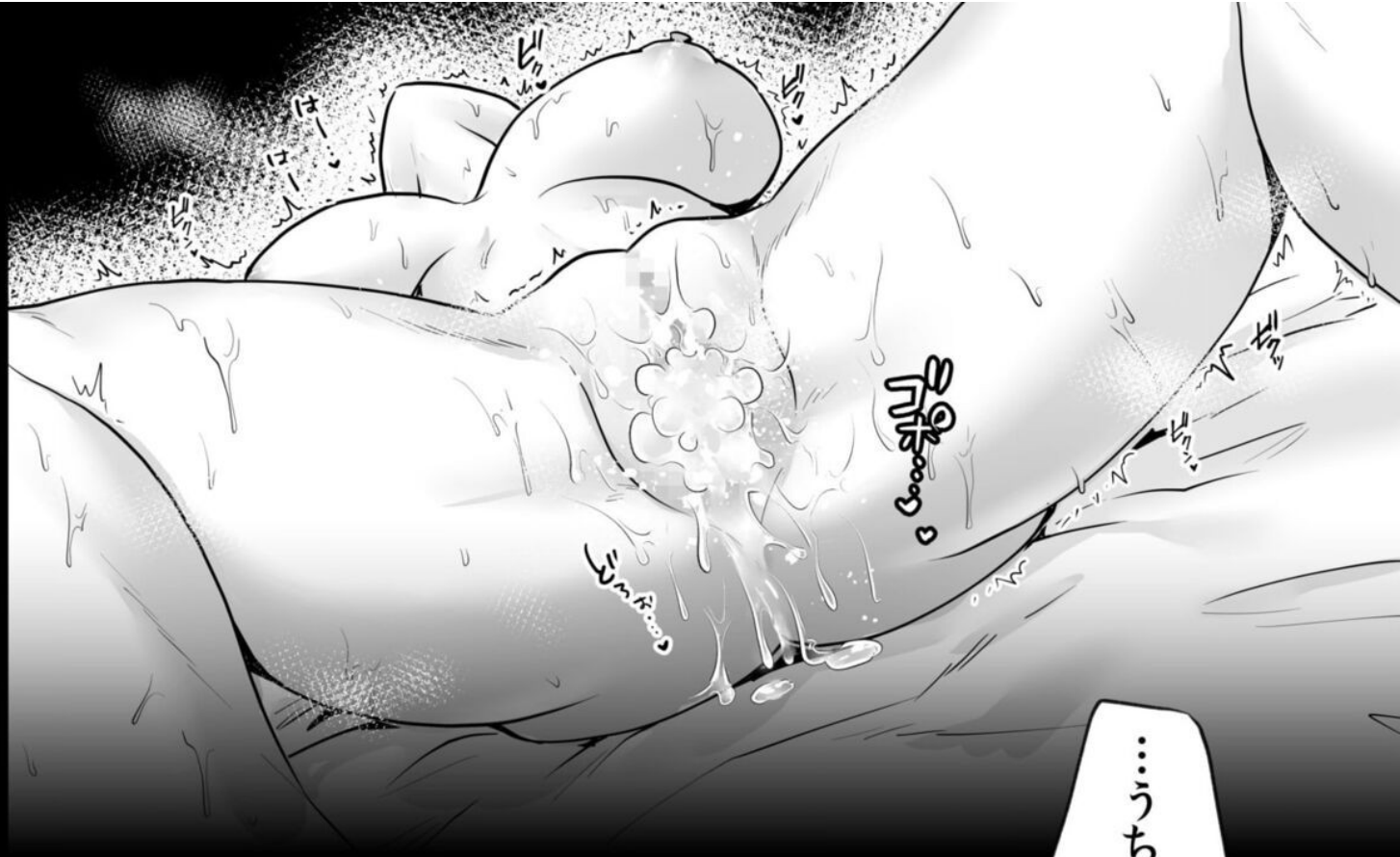
ちゅぽ♡











…うちゃん!



うわあああ!

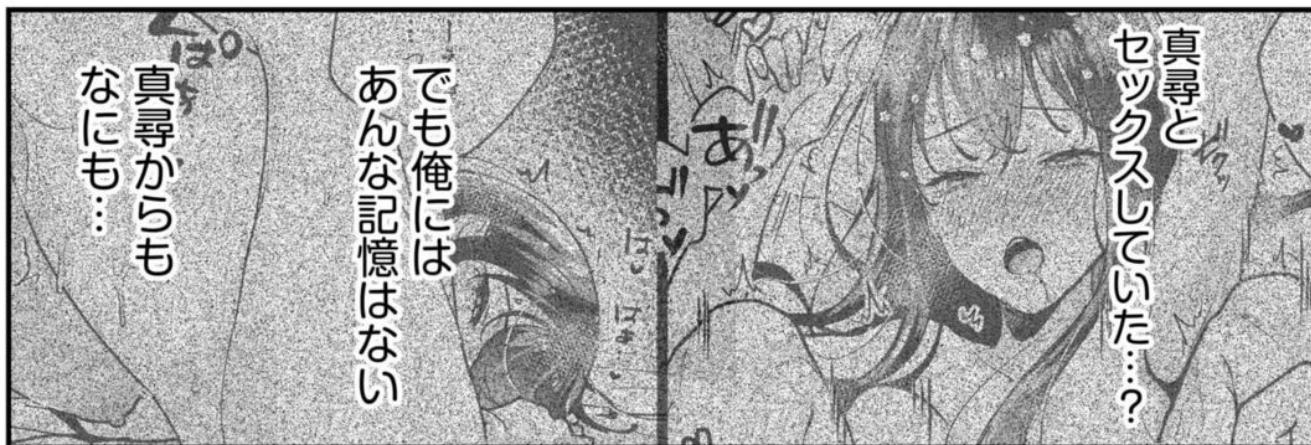


あ…?



蒼ちゃん!!









例の祠...





姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(3)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

Shimai tonon
Maguwai

姉妹との

ほろろ
祠に隠された秘密

ふぐわい

4

成年
コミック

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT







身体が…

なんか熱くて…ッ

蒼ちゃん…



身体が
動かな…くてっ

でも…ッ



悪い 菜月

もう帰ろう





どうして
おうひて…っ？

おひ…



菜月…っ



うっ



ふおめんふえ…っ









気持ちよく

なっちゃんってる
よお…っ

菜月…っ

蒼ちゃん…っ









まあそんなに
長くも居られない
だろうが

昨晚ぶりだな



お前まさか…っ！



ああ我が
まひろ
真尋の身体を
借りておる

真尋は
どうしたんだ



家で寝ておる

お主は
我に会いに
来たのであろう？



お前が
すべての原因
なんだな

真尋の身体を使つて
なにがしたいんだ…！



ふむ
なぜか…
といえば

この娘が
祠の封印を
破ったからだ



記憶を消すことなど
造作もない

我はな
この娘たちを使って



え…？

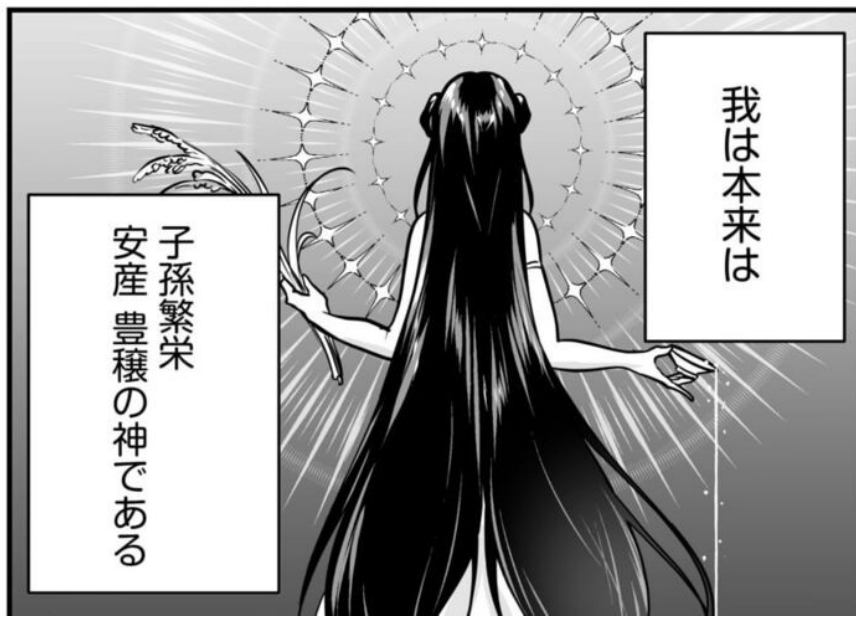
菜月はなにも
なかったって…



私の神格を
取り戻したいのだ



神格…？



私は本来は

子孫繁栄
安産豊穡の神である



…昔話を
しようかの



島の者たちは
この祠を作り
長年我を尊び

また我も
この地に繁栄を
もたらしていた

しかし
三百年ほど前――

島の外から来た者が
新しく社を建てて
からというもの

我のもとに
来る者は一人……

また一人と
減っていき

そうして
誰も来んように
なった……

我は忘れられて
しもうたのだ

そうして
崇める者もおらず
力を失った我を……

……

おおこの祠だな

早く封印して
しまえ

なんじゃ貴様ら！
なにをする！



例の神社の者が
祠ごと封印した

しかし月日は流れ
この娘が祠の封印を
破った



そんな...



その時
我は気がついて
しもうたのだ

この娘たちが
あの忌まわしき
神社の末裔とな

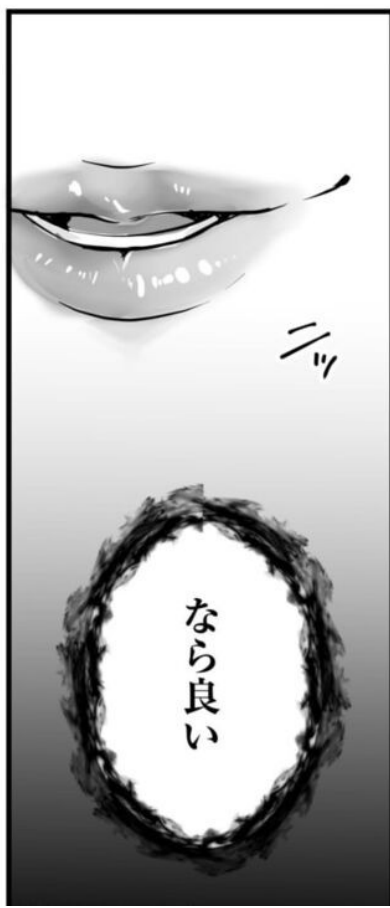
ゆえに我は
妹の方に神格を
取り戻すための

手伝いを
させようと思った

しかし
偶々その場に
居合わせた姉が

わたしが…
身代わりに
なります…!!

待ってください!









まあそう悲嘆に
暮れるでない

我があの娘を
唆したのだから

ああ：
俺はなんてことを…



今日を限りに
その男とは
会えぬのだろうか？



いい機会ではないか



酒の勢いで
一度なら許されるぞ

そうた
蒼汰くん…



そこからは
様々な男の子種を
吸収し

徐々に神格を
取り戻してきたが…

あと一歩…

あと一歩が
届かぬのだ





いま一度

我とまぐわえ

さすれば
真尋を開放して
やらんこともない

は…？



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(4)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

Shimai tono
Maguwai

姉妹との

はこい
祠に隠された秘密

ふぐわい

5

成年
コミック

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT



よからう

今このまま
貪ってやろうかと
思ったが

急いて
極上の子種の質が
落ちてもしかんな

なつき
葉月！

今晚までに
考えておくのだな

わ



なにそれ…

姉さんが
あんなつたのは
わたしをかばって…？

姉さんは
わたしのために

身体を
乗っ取られて…

それなのに
わたし…

ひどい態度

沢山とつちやつた…

…今
落ち込んで
しょうがないよね

菜月…

そろそそでさ

今晚もう一度
神様と話し合いを
することになった

菜月がいると
話がしにくいん
だつて…

えっ…

でも神様
ヤバイやつ
なんでしょ…?

一人で大丈夫?

そう…?

わかった…

で…

どうするのだ?





では我を満足
させてみせよ



なるほど

自ら不貞を
働くことに
罪悪感を感じて
おるのだな



：神様には
わからない
だろうな



人間とは
難儀な生き物よな

これは儀式だと
思えばよい





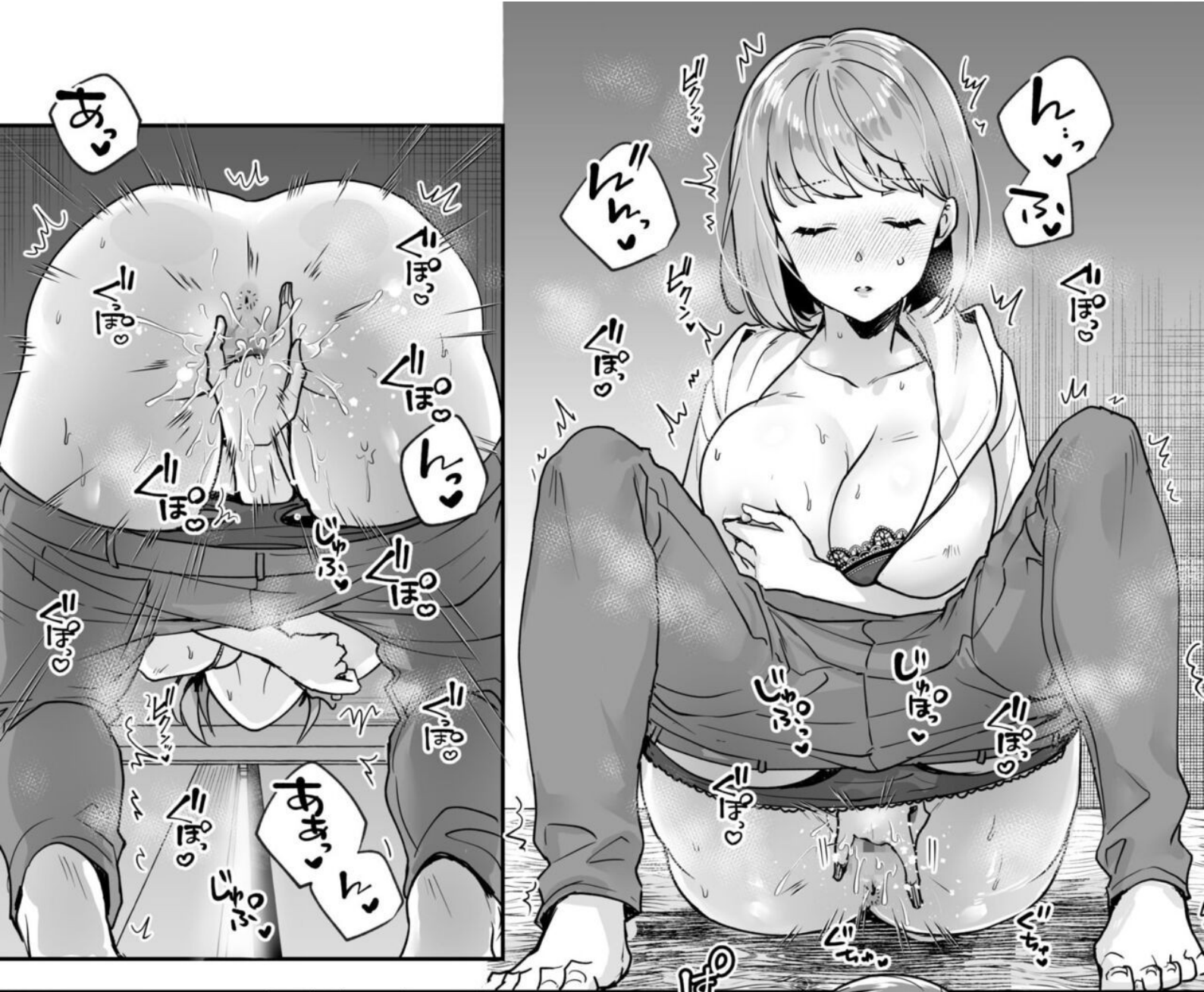






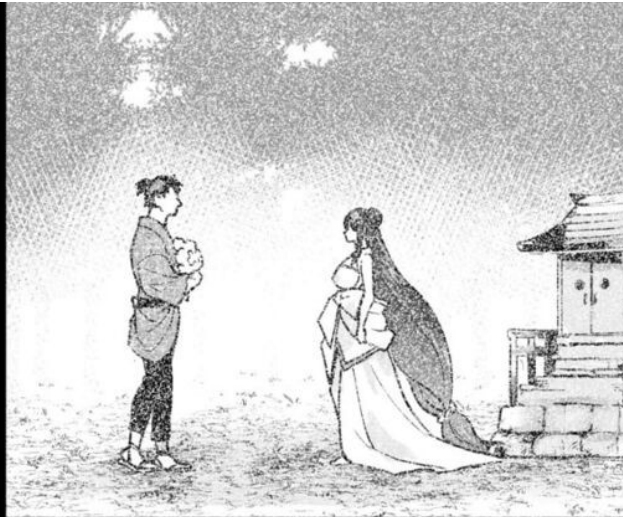










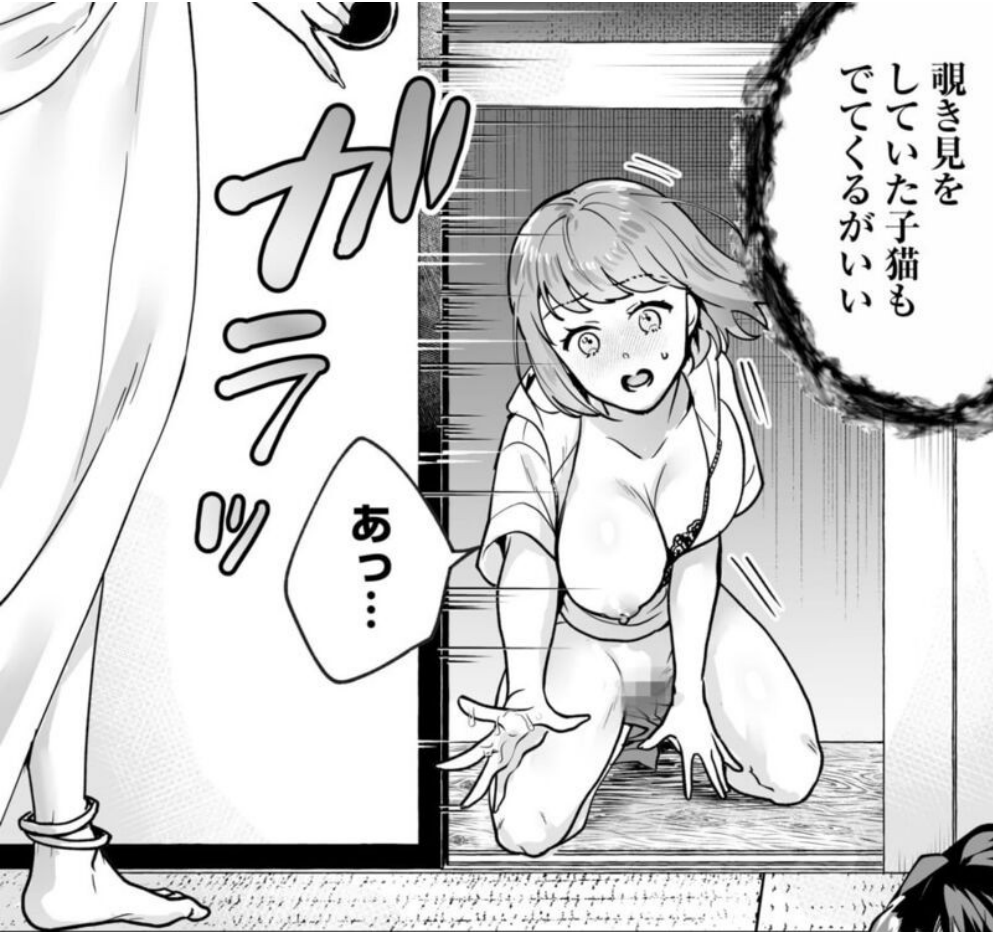


なるほど…

此奴は
お主の子孫
だったのだな…







覗き見を
していた子猫も
でてくるがいい







姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(5)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
